

# 緑化だより

No.71 平成24年4月号



コ ブ シ 平成23年4月12日出会いの広場にて

- 広島県の美味しい なば
- 野鳥の世界
- もみじの話(1)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# 広島県の美味しいなば

## 1. アミタケ(網 茸)

今月から、広島県内の野山に発生し(栽培きのこではなく)採集され食べられている美味しい野生きのこを取り上げていきます。

1 回目はアミタケです。アミタケはアカマツ林に発生するきのこで、梅雨時期と秋の年2回、適度な雨量があれば群生します。

“かのこ” “かのこなば” “ふなば”などと呼ばれ親しまれ食用にされています。道の駅などの特産品売場でよく売られています。

傘は淡黄土褐色で粘性があります。傘の裏はひだではなく管孔状で小さい穴がたくさん開

いていてオリーブ黄色です。煮ると赤紫色になることも特徴の一つなので、食べる前にアミタケであることが再確認できます。

群生している時は、全部収穫しても食べられないので、天日乾燥して乾燥アミタケとして貯蔵されることをおすすめします。味噌汁に入れるとツルツとしてナメコのような舌触りが味わえます。(川上)



アミタケ

# 野鳥の世界

## ルリビタキ

ルリビタキは宝石の瑠璃に例えられるような色をした青い鳥です。

大きさはスズメほどですが、深い海の青にも似て、静かな感じの野鳥です。

“幸せの青い鳥”といわれる意味を強く印象付ける魅力があります。

メスはオリーブ褐色で尾羽が青いので見分けられます。雑木林の地上の近くで、ウメモドキ、ヒサカキなどの小さな実やクモなどの小昆虫を食べ歩きます。

鳴き声は短く「ヒー・ヒー」と細く鳴いたり、時には「ケエ・ケエ」と鳴いたりします。これは越冬中の地鳴きで、繁殖期にはもっと艶やかに鳴いていると思われます。

人をあまり恐れず、枯葉をかき分けて地面を出すと、餌を探しに出てきます。気に入った環境をテリトリーに決めてひと冬を越し、3月頃になると北方に帰って行きます。

ヒタキ科の野鳥はどれも、目元がパッチリして、かわいい姿を一層引き立てています。

夏の青い鳥にオオルリがいますが、高い梢でさえずりをしていることが多く、近くで姿を見るのは稀です。それに比べるとルリビタキは、頭から背中、尾羽にかけてのルリ色と脇の



ルリビタキ

オレンジ色がよく見えて、美しさが目立ち、濃いブルーとオレンジ色とが幸せを身近に感じさせてくれるようです。

緑化センターにも毎年数羽のルリビタキがテリトリーを定めて棲みついています。近年その数は少なくなる傾向が続いています。野鳥の種類数は変っていないのですが、それぞれの個体数は減少しているように思われるのです。環境の変化のためなのか、温暖化が原因は定かなことはわかっていません。(吉見)

## もみじの話(1)

### 春に咲く ハナノキ

カエデ科カエデ属のハナノキは、落葉高木で高さは 25m を超えるものもあります。別名ハナカエデともいいます。

自然では長野、岐阜、愛知の主に木曾川流域沿いの山間湿地に自生しています。

この木の仲間が北半球から化石で出土することから、大古には地球上に広く生えていたと思われていますが、現在では限られた一部にしか自生していません。古い時代からの生き残り(遺存種)であり、ハナノキと周囲の環境の関係が謎につつまれたまま、歴史を物語っています。そのため、この木と環境を保護する意味は大きいものがあります。

1912年(大正元年)、小泉博士がハナノキの自生地として長野、岐阜、愛知を植物学雑誌に発表しました。大正9年7月17日、岐阜県中津川市坂本の自生地が国の天然記念物として指定されました。引き続き、大正11年10月12日、長野県、岐阜県、愛知県のハナノキ自生地が天然記念物として指定を受けました。緑化センターでは、県木の森の入り口とそれから東山作業道にかけて植えてあります。

葉は小型の三角形で浅い切れ目を持ち、裏は白っぽいのが特徴です。真っ赤に紅葉し、落葉すると、白と赤の絨毯を敷いたようになります。6月ごろ剪定した葉から染液をとり、草木染めの材料にも利用されます。

雌雄異株のハナノキは葉が出る前、4月上旬から中旬にかけて、紅色で小さい雄花・雌花が2~3ヶつつ集まって一斉に開きます。全樹にびっしりとついた状態で開き、燃え立つようなあざやかな印象を受けます。花の期間は短く、鑑賞の適期はアツという間に過ぎます。

この木はテッポウムシの害を受けやすく、多目的入口にあるアメリカハナノキと共に目が離せません。自生地の環境を守るため、天然記念物として指定されたように、大切に育てていきたいと思っています。(正本)



ハナノキの花



ハナノキの雄花

# 研修会のご案内

- 4月14日(土) 『4月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合  
春の里山と桜を観察しよう！  
講師:環境省稀少野生動植物推進委員 吉野 由紀夫
- 4月21日(土) 『八重桜めぐり』 10:00～12:00 管理事務所前集合  
八重桜を鑑賞しながら春の園内を散策しよう  
植物研究家 中塚 道則
- 4月22日(木) 『山菜料理教室』 10:00～12:00 学習室集合 (要予約・無料)  
山菜について学び、試食をします。春を味わってみませんか。  
講師:森林インストラクター 長井 稔・横田 登美子

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

- ◎ さくら祭り 4月1日(日)～28日(土)  
早咲きから八重咲きまで、期間中約30種類のサクラを楽しむことができます。  
期間中、クイズラリー(毎日・景品あり)を予定しています。
- ◎ “さくら祭り”イベント 4月15日(日) 10:00～15:00  
レストハウス前にて開催。さくらの小枝プレゼント、お茶席などでお楽しみ下さい。
- ◎ みどりの集い 4月29日(日・祝) 10:00～15:00  
多目的広場ほか。緑の恵みに触れながら、楽しめるイベントが盛り沢山です
- ◎ 展示会のお知らせ ( 展示場所:レストハウス )  
手描き友禅の会作品展 4月1日(日)～5月6日(日)  
手描き友禅の会会員の小物作品を展示します。  
緑化センターのサクラ写真展 3月29日(木)～4月22日(日)  
緑化センターで見ることのできるサクラ約30種類の写真を展示します。  
ボタニカル・アート展 4月26日(木)～6月7日(木)  
植物を、観察し精密に描いた絵を展示します
- ◎ 緑化センターオリジナルカレンダー配布について  
平成24年度オリジナルカレンダー(H.24年4月～H.25年3月)を、レストハウス・管理事務所にて無料で配布しています。数に限りがありますので、お早めにご確認ください。
- ◎ 臨時開園のお知らせ  
4月・5月は休園日なし。サクラや春の花をお楽しみ下さい。



H23年のみどりの集い風景

表紙; コブシ モクレン科モクレン属

名前は果実が握り拳に似るところに由来する。

古来より、開花を見て、種子を播いたり里芋の植付をする目安にした。

蕾からは精油をとり鼻炎の薬に、花からは香水をつくるなど利用される。